

当別に暮らす人にとっての 生涯にわたる「まなび」の道しるべ

第4次当別町生涯学習推進計画を策定

町教委では、平成26年度から5年間の生涯学習施策の方向性を示す第4次生涯学習推進計画を策定しました。この計画では、各年代ごとに町民の皆さんが主体的に学習活動ができる環境や目標づくりを進め、地域活動に活かすことにより、活力ある地域づくりに結びつけることを目指しています。

本計画の目的

町民が自発的に学び、学んだ成果が地域で活かされる「生涯学習社会」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

今後5年間の方向性

学校教育

幼保小中学校の効率的な連携から「一貫教育」への発展をめざす

知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成

社会教育

全ての発達段階に応じた学習プログラムの開発と円滑な実施をめざす

全ての町民が「幸せ」を感じることのできる生涯学習社会の実現

当別に暮らす人にとっての 生涯にわたる「まなび」の道しるべ

当別らしい家庭・地域社会・学校の連携を重視

学校支援
「生きる力」を育む
学校教育の推進

家庭・子育て支援
「ふれあい・健康」を
育む家庭教育の推進

社会・地域支援
「生きがい・学び」を
育む社会教育の推進

世代・地域の壁を超え、心豊かにともに支え合い、ふれあいにあふれる人づくりへ

本計画書設置場所

本計画書は、当別町役場、ゆとろ、総合体育館、学習交流センター、白樺コミュニティセンター、太美出張所、西当別コミュニティセンターに配置しているほか、町教育委員会ホームページから閲覧できます。

◇町教委ホームページアドレス

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/site/kyoiku-top/>

▼問合せ 社会教育課（総合体育館内・22-3834）

自己のライフプラン これからの推進すべき方向性

乳幼児期〈保育所・幼稚園など〉(0歳～6歳)

- ◎家庭教育、子育て環境の充実を図るため、子どもたち一人ひとりを理解し、その特性に合った心身の発達を促す、基礎づくりの支援
- ◎幼児の情操や創造性を育むとともに、幼稚園や保育所などの集団生活を通じて社会性を養う基礎づくりを支援し、小学校入学における保護者の不安感を取り除くため、幼小連携や育児相談の充実の支援

青少年期〈小学校〉(7歳～12歳)

- ◎「知・徳・体」のバランスのとれた人材の基礎となる力の育成
- ◎基礎・基本の確実な定着
- ◎低学年からの外国語活動や異校種間連携など特色のある教育の推進
- ◎自己理解にはじまるキャリア教育の推進
- ◎適正な学校配置と一貫教育の検討・推進

青少年期〈中学校〉(13歳～15歳)

- ◎小学校で培った「知・徳・体」の基礎となる力の発展
- ◎自ら進んで学習や行事に取り組む積極的な姿勢の育成
- ◎異校種間の連携
- ◎社会的・職業的な自立に向けたキャリア教育の推進
- ◎適正な学校配置と一貫教育の検討

青少年期〈高等学校など〉(16歳～19歳)

- ◎生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教養の習得への支援
- ◎望ましい職業観や勤労観の育みから、自発的な社会参加の準備を支援
- ◎将来のまちづくりの担い手となるための研修機会等の充実

成人期(20歳～60歳)

- ◎望ましい人間関係をつくとともに、生活を充実させるための自己実現を支援
- ◎家庭との豊かな家庭生活と地域と連携した子育てを支援
- ◎生活を充実させるための自主的な学習活動の推進や個々の能力や技術を地域で生かす環境の整備の支援
- ◎一人ひとりが心身豊かに相互に支え合い、自立性の高い地域をつくる意識向上の支援
- ◎子どもの考えや気持ちを理解し、地域で子どもを守り育てる地域の教育力向上の支援

熟年期(61歳以上)

- ◎健康の保持・増進
- ◎生きがいづくりへの支援
- ◎これまで蓄積された知識や経験を活かしたまちづくりへの支援

生涯学習の環境整備

- ◎生涯学習の推進を支援するための中核的施設として、図書館の設置を含めて検討